

新型コロナワクチン住民接種の実施状況について

1 主旨

新型コロナワクチン（以下「ワクチン」と言う。）住民接種の実施状況について報告する。なお、今後、国の動きが変更された場合は、区の実施内容も随時変更する。

2 区の接種状況等（令和3年7月7日時点）

（1）接種回数

内訳	1回目	2回目	合計
VRS※1	130,770回	84,319回	215,089回
医療機関（診療所）※2	19,795回	499回	20,294回
合計	150,565回	84,818回	235,383回

※1 国のワクチン接種記録システム（VRS）の集計（集団接種、病院での個別接種、国の大規模接種センターの実績。都の大規模接種センター、医療従事者接種の実績は含まない）

※2 医療機関（診療所）からの実績報告による。

（2）予約受付人数

約243,000人分（接種券発送済み人数：40歳以上の区民等約558,000人）

※区の予約システムの集計による（集団接種会場18、医療機関57）。

（3）個別接種の状況

6月21日から、区内医療機関（病院・診療所）での個別接種を開始し、7月6日時点で約350か所（1月あたり約90,000回）の医療機関から個別接種を実施する申し出を受け付けている。接種を実施している医療機関（病院・診療所）の一覧については、区のホームページに掲載している（掲載を希望する医療機関のみ）。

なお、玉川医師会が二子玉川仮設庁舎で以下のとおり夜間の住民接種を行う予定。

開始日	7月14日（水）から毎週水、木、土、日曜日に実施
実施時間	18時30分～20時30分
接種人数	1日あたり160人
予約方法	区の予約システムから予約可能

（4）高齢者施設

高齢者施設の巡回接種を6月22日から10チーム体制にし、接種を進めている。

7月7日時点で、嘱託医による接種を含めて184施設（対象施設220施設）、入所者と従事者を併せて22,866回の接種を行っている。

3 ワクチンの供給見通しと区への対応

(1) 国の供給見通し

7月6日の河野大臣の記者会見、及び7月7日付の厚生労働省の事務連絡により、今後のワクチンの供給見通しが以下のとおり示されている。

①ファイザー（全国の総供給量1億9400万回。区では集団接種、個別接種に使用）

- ・7～9月は、各クール（2週間ごと）に全国合計で1万箱（1170万回分）の配分が予定されている。
- ・3クール（6週間）分の接種回数を超える在庫がある自治体については、基本計画枠の配分量が1割削減される。

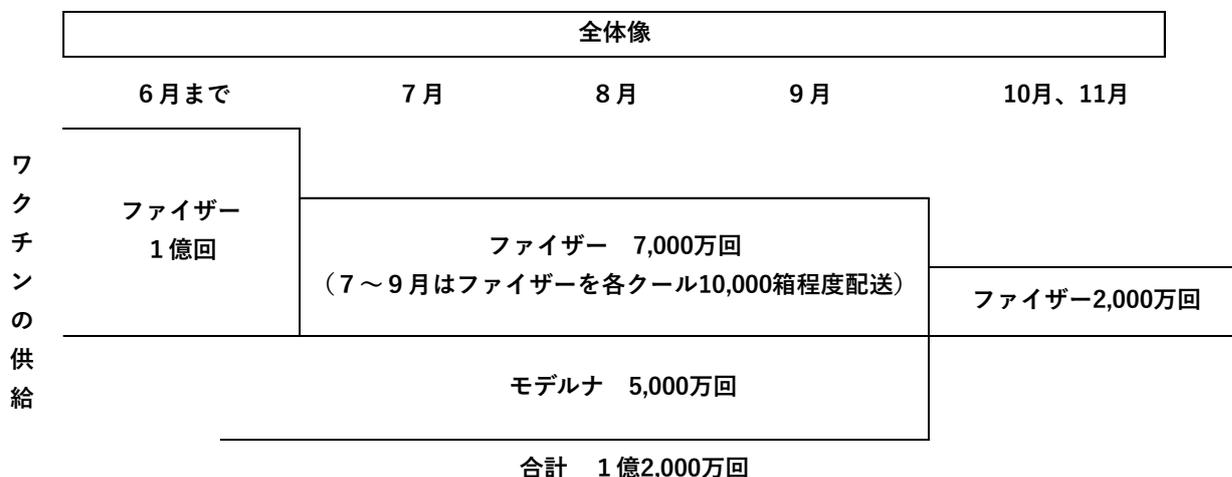
【1万箱の内訳】

内訳		箱数	区への配分見込み
基本計画枠（12～64歳の人口割）		8,000箱	59箱程度
調整枠	大規模接種会場枠（都道府県）	500箱	—
	各都道府県の12～64歳以上の人口割（配分は都道府県が行う）	1,500箱	未定

②武田／モデルナ（全国の総供給量5,000万回。国、都の大規模接種センターや職域接種で使用）

第2四半期分（4～6月）として1,370万回分が供給済み。残りが第3四半期（7～9月）に供給予定。

< 国の供給見通し 河野大臣記者会見資料 >



➔ 全ての人に2回接種するだけのワクチンを確保

(2) 区の当面の対応

区はこれまで希望する区民にいち早く接種を行うため、集団接種会場での予約枠の拡大や、病院・診療所での個別接種の開始など、接種の加速化に取り組み、必要なワクチン（ファイザー。以下同じ）数の供給を受けてきた。

しかしながら、今般の国の動向を踏まえると、これまで拡大してきた区の接種体制を維持できるワクチン数の供給が見通せないことから、以下のとおり集団接種及び個別接種の接種体制の調整に入る。

①集団接種

9月分の予約枠について、必要なワクチン数が供給されるまでの間、全ての集団接種会場の開設日における予約枠数を半数程度に減らす。

②個別接種

これまで月90,000回の接種を見込んできたが、今後のワクチンの供給の見込みが不透明であることから、ワクチン供給量や集団接種、職域接種の進捗などを考慮し、世田谷区・玉川両医師会と調整を行いながら対応する。

(3) 今後の接種計画

この間の企業、大学で実施が進んでいる職域接種や、国、都の大規模接種センター等での接種見込み数を踏まえ、区の接種計画の再見直しを行い、別途報告する。

4 集団接種の風水害時（台風など）における対応等

集団接種について、次のとおり風水害時の対応や熱中症対策を行う。

(1) 集団接種の中止等について

①集団接種の中止について

台風の接近などにより、区が高齢者等避難や避難指示を発令した場合や、気象状況などにより、集団接種会場に来場する区民等の安全が確保できないと区が判断した場合は、集団接種会場での接種を原則中止とする。

②中止した場合の予約者への対応

ア) 1回目接種者への対応

2回目接種日を1回目接種日として対応し、被接種者本人により再度2回目の接種予約を行っていただく。

イ) 2回目接種者への対応

区が、接種を中止した日より最長3週間以内に代替日を設定するなどの対応を行い、後日お知らせする。

(2) 区民周知

区のおしらせ7月15日号に掲載するほか、区ホームページなどで周知していく。

5 集団接種会場における熱中症対策の取組み（7月7日より）

- ・熱中症注意喚起のポスター掲示
- ・館内自動販売機の案内掲示
- ・水分補給を希望する方への飲料水の提供
- ・気温が高い場所で待機することがないように涼しい場所へのご案内

※大塚製薬株式会社より高齢者の熱中症対策啓発を目的としたポスター・配布資料の提供および、ポカリスエットイオンウォーター500ml（20,304本）の寄贈の申し出があった。飲料水提供の際は寄贈品を有効活用する。

6 今後のスケジュール（予定）

7月5日～9日 40歳～49歳の方の接種券送付及び予約受付開始

7月14日～20日 16歳～39歳の方の接種券送付及び予約受付開始

7月15日 区のおしらせ（12～15歳への接種券送付、集団接種の風水害時対応）

7月下旬 12歳～15歳の方の接種券送付及び予約受付開始

令和3年7月8日
住民接種担当部

集団接種会場における誤接種について

標記の件につきまして、下記のとおりご報告いたします。

区民の皆様には、多大なご迷惑並びにご心配をお掛けし誠に申し訳ありません。今後、委託事業者への指導を徹底するとともに、区として再発防止に努めてまいります。

記

1 発生日時・場所

令和3年7月6日（火）午前中 区内集団接種会場

2 状況

6回分を吸い上げた使用済みの空瓶に、再度、生理食塩水を加えて希釈し、充填した注射器で、最大6人に接種した。

3 今後の対応

今後、該当会場の午前中に接種した192名に、抗体検査を実施し、抗体の状況によっては、新たに接種を実施する。

なお、該当者には連絡し、謝罪を行った。

4 原因

使用済ワクチンの空瓶を作業スペースに戻したことで、看護師が取り違えたことによる。

5 対策

- ① 使用済ワクチンの空びんは、作業スペースには戻さず、保管袋に入れ、数を確認したうえで廃棄するよう徹底する。
- ② 毎朝、接種が始まる前にミーティングを行い「①」の内容を従事者全員で共有する。

本件担当：接種体制整備担当課長
田村
電話 03-5432-2963